

ぼうさい通信 Vol.13



平成 30 年度に発生した

震度 4 以上の地震

4月9日	島根県西部	震度 5 強
4月9日	島根県西部	震度 4
4月14日	根室半島南東沖	震度 5 弱
4月14日	愛知県西部	震度 4
4月24日	根室半島南東沖	震度 4
5月6日	熊本県熊本地方	震度 4
5月7日	岩手県内陸北部	震度 4
5月12日	長野県北部	震度 5 弱
5月13日	宮城県沖	震度 4
5月17日	千葉県東方沖	震度 4
5月18日	釧路沖	震度 4
5月25日	長野県北部	震度 5 強
6月12日	大隅半島東方沖	震度 4
6月16日	千葉県南部	震度 4
6月17日	群馬県南部	震度 5 弱
6月18日	大阪府北部	震度 6 弱
6月19日	大阪府北部	震度 4
6月26日	広島県北部	震度 4

平成 30 年 7 月 4 日現在

熊本県立湧心館高等学校 平成 30 年 7 月 14 日発行

平成 28 年 4 月に発生した熊本地震から 2 年が過ぎました。私たちはあの時、周囲の状況を判断し、命を守る行動「自助」をとることができました。また、災害発生時の互いに助け合う行動「共助」につながる貴重な学びを得ることができました。この経験を忘れることなく、日頃から防災意識を持ち、地域との顔の見える関係をつくっておくことが求められます。

6 月 18 日の朝、大阪府北部でも震度 6 弱の地震が発生しました。地震の規模はマグニチュード (M) 6.1 と推定され、その後も地震が相次いでおり、被害が懸念されている状況です。今もなお、日本の各地で地震が発生し、多くの方が被害を受けています。日本ではいつ、どこで地震が発生してもおかしくない状況なのです。



大切な家族の命を守るために、来るべき地震に備えて、私たちは日頃からどのような準備をしておけばよいのでしょうか。

地震や災害に備える

- ・安否確認の方法を家族で確認しておこう。
- ・避難場所や避難経路を確認しておこう。
- ・飲料水や非常用持ち出しバッグを準備しよう。
- ・家具の置き方や転倒防止対策をしておこう。
- ・「学校安心メール」に登録し、情報収集に備えよう。

非常用持ち出しバッグの内容の例

○飲料水 3 日分 (1 日あたり 1 人 3ℓが目安)
○携帯食料品 3 日分 (カップ麺、缶詰、ビスケット、チョコレートなど) ○貴重品 (預金通帳、印鑑、現金、健康保険証) ○携帯電話

(充電器・充電用バッテリー) ○救急用品 (絆創膏、包帯、消毒液、常備薬、マスク、お薬手帳など)
○衣類 (衣服、下着、防寒着、雨具、毛布、タオル、軍手) ○日用品 (筆記用具、洗面用具、ビニール袋、携帯トイレ、メガネ、コンタクト、マッチ、ライター、携帯ラジオ、懐中電灯、電池、予備電池、使い捨てカイロ、ウェットティッシュ) ○その他 (ヘルメット、防災ずきん、乳児のいる家庭はミルク・紙おむつ・ほ乳びん等)